

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先 歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戰經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名)	職官	終戦時ノモノヲ記ス
							全右所在地	氏名	
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		[Redacted]	昭和三十二年十二月二十五日奄美大島高江作屋ヨリ沖縄ニ轉送 昭和三十二年五月二十一日(昭和二十一年五月十六日)備前守林村ノ入所 馬場修養所	徳ノ島守備 天一守作ヲ参考	昭和十九年七月二十四日編成 丙裝備	不參加	独逸オチ三聯隊	陸軍少尉	[Redacted]
			歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス		職ノ變更及主ナル參加戦闘名ヲ記ス			

Handwritten mark at the top center of the page.

史実調査参考 (料報告)

所属部隊

獨逸混成隊三聯隊

職

小隊長

陸軍中尉

右所在地

奄美大島徳之島

八名

支那事変以
降於自
己略す

昭和十九年七月二十日歩兵第五聯隊應召今日獨立混成
隊三聯隊三聯隊同日工兵中隊中
年七月二十日徳島完結同日也警務署
年七月二十日門司砲台砲
年八月一日奄美大島古仁屋砲台砲同日同砲台砲
年八月一日古仁屋砲台砲同日徳島砲台砲同日
自昭和十九年八月一日(南西諸島防務)作戦考
細註 詳前書(南西諸島防務)作戦考

職
支那
古仁屋
砲台砲
砲台砲

所属部隊

昭和十九年七月二十日 独立混成隊

編制裝備

編制裝備概要 獨立混成隊 三聯隊 連射砲中隊一
隊 砲中隊一 工兵中隊一

工兵中隊兵力二八三名

61

所属部隊

新編中隊 徳之島南西に當り位置し地内道路
構築並に補修 橋架架設 護送隊物 建設隊地
積築 補修 築築 海軍砲隊 構築隊等 其向
米運搬 攻撃隊等

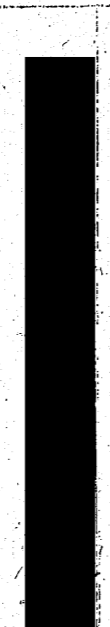
最新所
部隊
尚
分

終戦文主力
戦中終了
後状況

終戦後五十号治安維持任務外 暴風被害後復旧工事
より余力多し 農耕 自治 資

戦況
詳記

帰郷文八連



其他参考
考事項

61

本 考 行状一部是記載せし第一復旦省文実部へ送付す

史実調査参考資料報告

摘

所屬部隊 獨立混成第三聯隊

職

大隊副官

陸軍中尉

終戦時

所在地位

徳之島

氏名

[Redacted Name]

大體中支隊

昭和十九年七月十九日 動員下令

職責要約

行 於 島 上

七月三日 歩兵第三聯隊補充隊 應召同日獨立混成第三聯隊 轉屬同日第三中隊時

已 略 了

八月八日 奄美大島古仁屋港上陸同日島内各地に警備

全

全二十年 二月十三日 第二中隊時

全

昭和十九年八月八日 南西諸島防衛並沖繩作戦参加

昭和十九年八月三日

南西諸島防衛維持に従事

昭和十九年八月三日

任陸軍中尉

編成

昭和十九年四月 昭和一九、七、二四

編成

編成 221 三、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、大隊

三、中隊

一、中隊

一、中隊

方隊

主力は美名田山ニ主陣地あり、掩護時野車由近

功事

陣地内は柵壕等構築ニ當り、其内空軍ハ小艇

二、任人

功事ヲ行ハシム

軍人

五トシノ級幹部ヲ選出シ維持人口安定ニ努メ

民指導

ヲ行ハシム地方民ハ一般ニ平陸ニシテ着実ニ路線

動向

ヲ見守リテ了リ

歸還

輸送

状況

詳記ス

其、他

考、項

部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

一、部

史実調査参考資料報告

所属部隊	独立混成第三聯隊	職	小隊長
右所在地	徳之島	氏名	[Redacted]
		階級	中尉

支那軍は以て
 降し給ふ自
 己の略し
 昭和一九七二五 西牟才四新隊補充隊附
 〃 七二二 独立混成第三聯隊之隊員
 〃 八二六 本島島守大佐新伊仙吉上陸前日地盤調査
 昭和、八二〇 沖繩作戦二号記
 〃 一三三六 津守指示二基中沖繩行
 昭和、三三六 本島二島帰還浦坂上陸

所属部隊
 編成年月日 昭和一九七二四
 編成場所 徳島
 一、大隊一三三隊
 一、中隊兵力一六〇名

新編部隊作
 戦経過概
 況
 中隊中隊、独立中隊として伊仙吉に位置し、大田中隊を中心と
 して大田中隊自身も大部隊、南に掩蔽壕等設置、対空機銃
 等設置、地盤調査等、其の向、津守指示、外艦給油等

終戦直前全力
 戦斗終了
 後、状況
 昭和二十三年三月
 終戦後、沿岸確保人心安定、および指導等あり、
 手続二歩着々と終戦後、動向を見守り、了り、

帰郷又八陣
 給光
 [Redacted]

其他参考
 事項
 戦後、第一復員省、支那部、選別又

最終所属

師団

關東上陸地支局

昭和二十一年三月

史実調査參考資料報告

摘

所屬部隊

獨立混成中隊

職

小隊長

中尉

終戦時ノ
ノ記

右所在地

練馬島

氏名

[Redacted Name]

支那軍史以
降ノ於ル自
己ノ略

昭二七.三.一 任陸軍少尉

職
支那軍史

昭二七.七.三

昭二七.七.三 任陸軍少尉

昭二七.九.一

昭二七.九.一 任陸軍中尉

昭二七.九.一

昭二七.九.一 任陸軍中尉

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

陸軍中隊司令部官房員ニ報告済

所屬部隊作
戦経過ノ概
況

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

所屬部隊
ノ概要

合右

備考
本隊一部宛記載セシメ第一復員省史実部ニ送付ス

其他参考
事項

歸還輸送
ノ概要

終戦後ノ
戦況

合右

合右

歸還輸送
ノ概要

所屬部隊
ノ概要

所屬部隊
ノ概要

職
支那軍史

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊

獨立混成第三聯隊

職

隊部付

主計

終戰時ノ手記

右所在地

德島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以後

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

已ノ略

昭和十一年二月 右解除

職

獨立混成第三聯隊付 主計

職

〇〇〇〇

所屬部隊

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

編成年月日

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

及編制裝備

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

概要

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

所屬部隊

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

經過

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

終戰時ノ手記

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇

昭和十一年七月 陸軍部事務官(前陸軍部事務官) 〇〇〇〇



終戰時ノ手記

終戰時ノ手記

終戰時ノ手記

46

隊名	指揮親屬 關係及 其並 遷概要	參加七九主 要作戰 (戰鬥) 概要 死傷 概要	給 養 衛生	終戦ヨリ 歸還マテ 行動概要	其他部 隊ノ 経歴 下 特異 事項
独立混成第22聯隊 昭和十九年七月二十四日 " 七月三十一日 " 八月十九日 自昭和十九年八月十九日 至昭和二十年八月十四日 勤員完結 門司港出帆 奄美大島 徳之島 平土野上陸 奄美大島 徳之島 警備	独立混成第64旅團	沖繩作戰第6航空軍作戰協力 死傷損耗不明	給養十分ナラス (一日定量三百二十瓦) 衛生状態 概不可ナリ	現地自活	

部隊長名 陸軍大佐 [Redacted] 陸軍大尉 永田 楠男

Vertical text on the right margin, possibly bleed-through or additional notes.